

平成25年度 教育モニターからの教育情報(情報提供のみ) 7月分

月	住所	性	歳	テーマ及び情報内容	担当課
7	東白川町	男	50	<p>【地域で開催された青年の主張大会について】</p> <p>7/5(金)に東白川村民会議主催の青年の主張大会が行われた。また、小中連合PTA主催の村民ふれあいコンサートも共同開催され、楽しい夜の時間を過ごすことができた。例年だと、教育委員会の課長、係長が司会を行い、堅い雰囲気で行っていたが、今年はジュニアリーダー(中学1~3年生14名)が、受付や会場係、司会進行を行い、アットホームな中で、にぎやかに会が進められた。ジュニアリーダーたちは、何回も練習をして、本番に臨んだようで、立派にやり遂げた満足感とさわやかな笑顔に感動した。地域に貢献できたことが自信にもつながったと思う。これからも地域のいろいろな場面で、ジュニアリーダーの活躍する姿を見ることができればと思う。今後に期待したい。</p>	男女参画青少年課 社会教育文化課
7	各務原市	男	60	<p>【学校評議員について】</p> <p>1. 学校評議員会の意義 設置当初はかなり構えて準備し、職員にも危機意識を持たせるなど学校経営を見直す絶好の機会にしてきたが、その会議日が保護者の学習参観日と同一日に設定しており、何かと落ち着きがなく、その後の交流も、感想のみで形だけで済んでいる実態が多くなっていないだろうか。</p> <p>2. 学校関係者評価 評議員と同時に、学校関係者評価委員になっているため、校長の経験方針を聞き、授業も急ぎ足で参観したのち、評価を行うことになっている。結果は、保護者、地域に発信され、学校経営に生かされているようだ。ただ、評価は、市教育委員会(県教育委員会)にも報告されているはずだが、学校の評価が、どのように処理され、学校教育(全体)の方針につながっているかは不明確である。</p>	学校支援課
7	北方町	女	60	<p>【地域でのつながりについて】</p> <p>どの学校でも地域のつながりを大切にいろいろな活動をされていると思う。しかし、実際地域のつながりは少なくなる一方だ。私の地域の子ども会は、子どもが20人以上いるのに加入しているのは1年生2人と知り、地域の基盤である子ども会活動が運営できない現実を知った。大きな原因は親の負担(役員になること)を避けるため退会するという話である。こういった現実の中、1年生2人で子ども会を継続し、5月の祭りには手作りの子どもみこしで町内を練り歩いた。夏休みは2人の保護者でラジオ体操の当番をされている姿を見て、町民の一人として何かできないものかと思った。60代のまだまだ元気な方々の力を借りて地域のつながりを作っていけたらと思っている。</p>	教育総務課